

平成28年に新たに発生が確認された病害虫(*)、今後の発生に注意を要する病害虫等

農作物名	病害虫名	発生地域	発生確認年月	発生・被害の概要等
リンドウ	立枯病* (Fusarium sp.)	西北地域	平成28年 5月	地上部が立ち枯れる障害が発生した。根茎の病斑部からはFusarium属菌が分離され、土壌混和接種により病原性が確認されたことから、立枯病と診断した。 (農林総合研究所)
りんご	リンゴスガ (特異発生)	青森市浪岡	平成28年 6月	伐採予定のりんご園でアメシロとは異なる“黒い毛虫”による葉の食害が多発生した。幼虫を採取し飼育した結果、6月中に蛹化羽化しリンゴスガと確認した。 (病害虫防除所)
キク	キク矮化ウイロイド：CSVd (発生拡大)	西北地域	平成28年 6月	品種「ワンピース」「さつき」に矮化症状が認められた。ICAN法による検定の結果、病原はCSVdと診断した。 (農林総合研究所)
とうもろこし	赤かび病 (特異発生)	青森市浪岡	平成28年 7月	子実包葉や茎が腐敗する障害が発生し、褐変部からは細菌の湧出はなく、Fusarium属菌が分離され、赤かび病と診断した。本病は既発生病害であるが、発生ほ場では発生株率5%程度と高い被害が確認された。 (東青県民局普及振興室、病害虫防除所)
シクラメン	インパチエンス えそ斑点ウイルス：INSV (発生拡大)	西北地域	平成28年 8月	葉に輪紋症状が認められた。イムノストリップによる検定の結果、病原はINSVと診断した。 (農林総合研究所)
りんご	オオタバコガ (発生拡大)	津軽地域	平成28年 8～10月	本年、津軽地域の各地より果実を加害中の幼虫や本種によるものと思われる被害果の持ち込みが多かった。本種は平成26年に特異発生した害虫として報告したが、津軽地域では被害が拡大していると考えられる。 (りんご研究所)
キク	トマト黄化えそ ウイルス：TSWV (発生拡大)	西北地域	平成28年 9月	品種「精の一世」に葉の黄化、輪紋症状が認められた。イムノストリップによる検定の結果、病原はTSWVと診断した。 (農林総合研究所)